

「中小企業経営に効く資格」～その効用から短期合格法まで～

## 「お金の暮らしに安心を」ファイナンシャル・プランナー (FP) (第4回)



松本光正社労士・行政書士・診断士事務所

## I はじめに

人生 100 年時代をどう生きるのか。

一番に気にかかるのは、いかに毎日を健康で過ごすことができるかです。コロナ禍にあって、私たちはその大切さを再認識することとなりました。

そしてもうひとつ気になること、それは将来のお金についてでしょう。

昨年公表された金融審議会市場ワーキンググループの報告書案に「人生 100 年時代に備えるには老後 2,000 万円の資産が必要」との内容があったことに、将来への不安が高まりました。

来年 4 月からは、努力義務ではありますが、企業は 70 歳までの就業確保措置を講じてください、ということになりました。少子高齢化が進む中で、公的年金制度への心配がますます大きくなるのも仕方のないことです。

こうしたお金に関する心配について相談にのってくれるのが、ファイナンシャル・プランナー（以下、FP）です。FP とは、年金や保険、税金から、住宅ローン、資産運用、相続まで、お金と暮らしについて総合的なアドバイスをする専門家です。

ビジネスパーソンに人気で、1 年以内の学習期間で合格が可能な資格を「中小企業経営にどういった効用があるか」という視点からご紹介している本連載。4 回目となる今回は、FP を取り上げます。

中小企業の事業主や管理者、従業員がこの資格を取得すれば企業にとってどんな効用があるのでしょうか。それでは、始めてまいります。

## II ファイナンシャル・プランナーってどんな人？

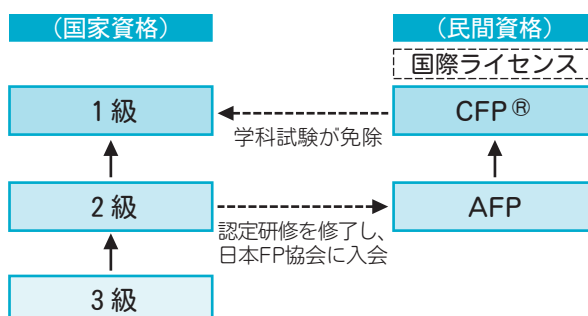
FP 資格には 2 種類あります。

ひとつは、日本 FP 協会が認定する民間資格の「AFP（アフィリエイト・ファイナンシャル・プランナー）」とその上級資格である「CFP®

（サーティファイド・ファイナンシャル・プランナー®）」です。CFP®資格は、北米、アジア、ヨーロッパ、オセアニアを中心に世界 25 カ国・地域（2020 年 8 月現在）で導入されている国際ライセンスです。

もうひとつは、国の技能検定である「ファイナンシャル・プランニング技能士 1～3 級」（以下、FP 技能士）です。こちらは国家資格です。

両資格はお互いに関連しています。



ファイナンシャル・プランナーとは職業の名称なので、資格がなくても名乗ることができます。ただ、その実力を示すために資格を取得し、それぞれの資格名を名乗ることが一般的です。

FP 技能士は国の名称独占資格ですので、合格者しか名乗ることはできません。CFP®・AFP は登録商標なので、日本 FP 協会が認定した者しか名乗ることができません。いずれも国から認められた独占業務はありません。CFP®・AFP は、日本 FP 協会に入会し、継続教育で単位を取得し、2 年ごとに資格を更新しなければなりません。費用の負担もあり大変ですが、それだけ常に最新の知識やスキルを学んでいるという実力の証明でもあります。

では、具体的にどういう人たちかを CFP®・AFP 認定者の属性で見てください。40 代、50 代が中心でそれぞれ約 30% です。30 代と 60 代以上がそれぞれ約 15% となっていますが、60 代以上で活躍されている方が増えています。

業種でみると、業務に直結している金融機関（保険、証券、銀行）が最も多く 51%。FP 事務

所・士業事務所が7%、不動産・住宅が6%となっています。他方、一般の事業会社にも14%おり、学生・主婦などが13%とさまざまな分野にわたっています。

男女比率のデータは公開されていないのですが、女性の割合が非常に多いのが特徴です。私が受検した際の会場が奈良女子大学だったということからも分かっていただけだと思います。試験当日、駅や大学周辺のカフェに、テキストを手にした多くの女性がいらっしまったことを覚えています。もちろん教室の中は女性が圧倒的に多かったです。

FP資格は、金融機関に勤める人にだけ役立つ資格ではありません。さまざまな分野に多くの資格者がいて、特に女性の活躍が目立ちます。

### Ⅲ ファイナンシャル・プランナーの特徴

FPの特徴は「包括的かつ長期的な視点」です。

税金や年金の特定の専門家とは違って、FPはお金に関するすべての領域にわたる包括的な視点からアドバイスします。お客様が一生を通してどうすれば夢や目標を実現できるか、そのための生活設計（ライフプラン）を具体的に提案します。

お客様の収入・支出、資産・負債から、生涯計画や価値観まで、ありとあらゆるデータを集め、さまざまな視点で分析を行います。最終的には、想定される問題点についての解決策なども含めた提案書をまとめます。

提案書とはどういうものか、まずは実際に作ってみればよく分かります。

AFPになるため、あるいは2級の受験資格を得るためには、日本FP協会のAFP認定研修を修了する必要があります。予備校等の受検機関は、日本FP協会のAFP認定教育機関になっていることが多いため、受検勉強と同時に提案書を作成するための講義も実施しています。講義を受けた後に「30代会社員からのマイホーム購入の相談」

「50代会社員からの老後資金の相談」といった具体的な事例について、約30ページにわたる提案書を実際に作成して提出します。これはなかなか大変な作業です。

提案書作成を経験することで、少しだけ自信が持てるようになると同時に、FPになるためには相当な研鑽が必要だということを肝に銘じることになります。

お客様の生涯にわたる生活設計を、包括的な視点から提案するという壮大な仕事に携われるのがFPの魅力です。

### Ⅳ 中小企業経営への「効用」

FP資格を取得すると、まずは自分自身のお金について見直しができるようになります。「知らなかったために損をしていた」ということが意外とあるものです。次に、金融機関や不動産会社、ハウスメーカーの従業員は、お客様の資産についてのご相談を受けることが仕事なので、コンサルティング能力が向上します。これらの会社では必須の資格となっています。ではその他の一般企業において、何か効用があるのでしょうか。

あります。それは「優秀な人材の確保」です。「やっと採用できた従業員だったのにもう辞めてしまった…」「優秀なパート社員にもう少し長く働いてもらえないものか…」といった人手不足に悩む企業はこれからますます増えていきます。人材定着のカギは、従業員の満足度を上げることにあります。

従業員の関心事で共通しているもの、それはお金です。FP資格者は、従業員の家計にまで思いを至らすことができます。そこで、従業員の将来への不安を解消でき、安心して働くことができる体制づくりの提案をしてもらいます。例えば、誰もが退職金を受け取れるように中小企業退職金共済（中退共）に加入するとか、企業型確定拠出年金（企業型DC）を始めてみるといったことです。

また、漠然と「年収〇〇万円以上になると損をすると聞いたので、それ以上は働きません」「月〇〇円以上稼いでしまうと、年金が減らされるそうだから仕事を控えよう」ということで、労働時間を抑えてしまっている人がいるはず。優秀な方に思う存分その力を発揮してもらえないことは、企業の成長を止める要因になってしまいます。FP 資格者が個別に面談を行い、正しい知識を伝え、決して損にならないような働き方を提案することで、思う存分仕事に打ち込んでもらえるようになることが期待できます。

従業員のお金の心配ごとを解決して「優秀な人材の確保」で、企業の成長に貢献することが社内 FP 資格者の役割です。

## V ファイナンシャル・プランナー試験ってどんな試験？

ここでは、受験者数が最も多い 2 級 FP 技能検定を取り上げます。

FP 技能検定の試験実施団体は 2 つあります。日本 FP 協会と金融財政事情研究会です。どちらで受験しても大きな違いはありませんので、今回は日本 FP 協会を例に説明します。

●**受験資格**：① 3 級 FP 技能検定合格者、② 2 年以上の FP 実務経験を有する者、③ 日本 FP 協会の AFP 認定研修を修了した者

●**実施日程**：1 月、5 月、9 月の年 3 回

●**試験方式**：

学科試験：(午前 120 分)

試験科目：① ライフプランニングと資金計画、② リスク管理、③ 金融資産運用、④ タックスプランニング、⑤ 不動産、⑥ 相続・事業承継

出題形式：マークシート、四肢択一式が 60 問

合格基準：60 点満点で 36 点以上



実技試験：(午後 90 分)

試験科目：資産設計提案業務

出題形式：記述式(択一・語群選択・数値記入など)が 40 問

合格基準：100 点満点で 60 点以上

●**合格率**：学科 49.19%、実技 57.37%

(2020 年 9 月)

※実技試験とはいえ、筆記形式(具体的な事例問題)で行われます。

※学科試験と実技試験は必ずしも同時に合格する必要はありません。

※受験資格③で合格すると AFP も取得できます。

FP 技能検定では、お金に関する基本的な知識を 6 つの科目に分けて体系的に学ぶことができます。

学習範囲は、他の国家資格では専門的に学ぶ「税金」「年金などの社会保険」「不動産」「相続」「事業承継」から、より実践的な「ローンのしくみ」「各種保険商品」「資産運用」までとかなり広いです。私たちの生活に身近なものばかりなので「なるほど、そういうしくみだったのか。これはちょっと得したかも」と思いながら学習を進めることができます。

最上位の 1 級 FP 技能検定や CFP® は別として、これだけの幅広い分野を学ぶことになるため、問われる知識はどうしても「広く浅く」ということになります。

○×式や三肢択一式の試験である 3 級はもちろん、2 級についても合格点(6 割)を取ることに限ればそれほど難しいことはありません。難易度としては、日商簿記検定試験の 3 級や 2 級と同等と考えてもらえば結構です。そういう意味では、商業高校の生徒が卒業までに日商簿記検定試験 2 級を取得しておくことが望ましいのと同様に、2 級 FP 技能検定も併せて取得しておくことは将来

のキャリアに大きな可能性をもたらしてくれます。

私たち大人の場合、改めてお金についての知識に向き合い、日々新たな発見を楽しむことができるため資格試験勉強という辛さを感じることはそれほどありません。試験も年3回行われますし、試験当日は「お金に関するクイズを楽しむ」という気持ちで臨めば良い結果につながるでしょう。

身近なお金に関する広い知識を得ることのできる試験です。試験当日はクイズ大会に参加する気分で楽しみましょう。

## VI 短期間で合格をつかみ取ろう

これまで3回の連載において述べてきたのは、多忙でなかなか時間が取れないビジネスパーソンにとって「時は金なり」だということでした。よって必要な知識のインプットは「短期集中」。ノウハウのある予備校等の専門機関の講義動画を3周視聴して頭の中に入れてしまいましょう、というお話しをしました。

これはもちろんFP試験にも通じます。ただし、2級レベルまでであれば難易度はそれほど高くありませんので、見やすい市販のテキストを購入してそれを3周読むことで合格レベルに達する知識を得ることは可能です。

今回はアウトプットについてお話ししたいと思います。ここでいうアウトプットとは、時間を測って実際に過去問や模擬試験を解いてみるということです。これによって、問題形式を知ることができたり、自分なりの時間配分を考えることができたりと、試験当日の作戦を立てることができるようになります。アウトプットの回数を増やせばそれだけ合格に近づくことは間違いありません。

ただ、とにかく時間がかかります。先ほどの2級FP技能検定だと、学科試験が120分、実技試験が90分でした。解いてみた後は、解答解説を読み込まなければなりません。覚えておくべき知

識や解法、時間配分で反省すべき点など、気になった事をA4用紙にぎっと書き出してストックしておきます。次回以後に活かしていくためです。

これらを全てやろうと思えば休日が一泊あるいは二日無くなってしまうでしょう。これはインプットの時間を削ってまですることではありません。少し極端な言い方をすると、知識が問われ、マークシートで答える試験はインプットだけでも合格は可能です。なぜなら、直近の過去問で問われた知識や解法についても最新版のテキストや講義であれば、それらをしっかりと反映した内容になっているからです。

2級FP技能検定であれば、時間をなんとか捻出して、最低1回は試験当日と同様の時間帯に模擬試験に挑戦してみる、ということでも足りるでしょう。

もちろん、アウトプットにも力を入れなければ合格に近づけない試験もあります。

ひとつは、論述式などの記述量が多い試験です。問われたことに対して的確に答える文章作成能力が必要になります。

もうひとつは、事務処理能力や瞬発力を問われる試験です。何度も練習を繰り返して問題の解き方を身体にしみこませた上で、タイムマネジメントしていく能力が必要になります。

アウトプットは、学習時間に余裕があれば着手しましょう。インプットに必要な時間を削ってまで行う必要はありません。

### 《プロフィール》

松本 光正 1972年、奈良県磯城郡生まれ。神戸大学経営学部卒業。外国人技能実習生受入れ業務等を経て、2016年、独立開業。専門は外国人雇用。全国各地で講演、セミナーを実施している。社会保険労務士、申請取次行政書士、中小企業診断士、全国通訳案内士(中国語・英語)。近著に「待たなし！外国人雇用」～STORYで読む入管法改正～(三恵社、2019年)がある。メールアドレス:songben0103@gmail.com